

製品安全データシート

作成日：2016 年 12 月 13 日

改訂日：2026 年 10 月 13 日

確認日：2026 年 10 月 13 日

1. 化学品及び会社情報	
製品名 [構成品名] 他の特定手段 供給者の会社名称、住所及び電話番号	WRP CHECK シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1 丁目 5 番 1 号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台 4 丁目 4 番地の 4 TEL：(078)991－1911
緊急連絡電話番号	TEL：(078)991－1911
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する
2. 危険有害性の要約	
化学品の GHS 分類 物理化学的危険性 健康に対する有害性 環境に対する有害性 GHS ラベル要素 絵表示 注意喚起語 危険有害性情報 注意書き 安全対策 応急措置 保管 廃棄	区分に該当しない 区分に該当しない 区分に該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない 該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	成分にヒト由来成分を含む。ヒト由来原料は、HBs 抗原、HCV 抗体、HIV-1 抗体及び HIV-2 抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染性を完全に否定できる検査法がありません。また 4 項目以外の感染性物質については確認していません。従いまして、本品の取扱いにおい

	ては、患者検体と同じように感染の危険性があるものと考え、十分に注意して下さい。
3．組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	混合物（水性懸濁液）
成分の化学名	毒物劇物取締法、PRTR 法及び労働安全衛生法の対象物質は含んでいませんが、ヒト由来成分を含んでいます。
濃度又は濃度範囲	—
CAS 番号	—
化審法 官報整理番号	—
安衛法 官報整理番号	—
4．応急措置	
必要な応急処置の説明	
吸入した場合	吸入した場合は、鼻腔を微温湯で十分に洗浄し、うがいを行う。刺激が続く場合は、直ちに医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに付着又は接触部を多量の水で十分洗浄すること。
眼に入った場合	直ちに多量の水で最低 15～20 分間洗浄すること。
飲み込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	情報なし
5．火災時の措置	
適切な消火剤	水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	情報なし
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	情報なし
6．漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	適切な手袋を着用し、製品との接触を避ける。
環境に対する注意事項	物質で汚染された区域は、塩素漂白剤と水で洗浄する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	タオル、紙タオル等の吸収性のある素材に吸収させる。
二次災害の防止策	情報なし
7．取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
安全取扱注意事項	ヒト検体と同様に感染の危険性があるものとして十分に注意して取り扱うこと。

衛生対策	長時間の室温放置は避ける。
保管	
安全な保管条件	冷所(2～8℃)に密栓して保管する。
安全な容器包装材料	容器を密閉し、適切な条件下で保管すること。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	情報なし
設備対策	情報なし
保護具	
呼吸用保護具	必要に応じて保護衣の着用する。
手・皮膚の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡、保護マスク
特別な注意事項	情報なし
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	赤褐色
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	ほぼ中性
動粘性率	データなし
溶解度	水に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし
10. 安定性及び反応性	
反応性	データなし
化学的安定性	通常条件下では安定である。製品性能の安定性について

危険有害反応可能性	は添付文書を参照すること。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし
11. 有害性情報	
急性毒性	
経口	データ不足のため分類できない
経皮	データ不足のため分類できない
吸入	データ不足のため分類できない
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データ不足のため分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない
発がん性	データ不足のため分類できない
生殖毒性	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データ不足のため分類できない
誤えん有害性	データ不足のため分類できない
その他の情報	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	オートクレーブ処理後、大量の水と共に流してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
航空規制情報 (ICAO/IATA)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報 (IMO)	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類 (危険有害性クラス)	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	情報なし
MARPOL73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない
国内規制	
航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	輸送危険物には該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に行う。
15. 適用法令	
薬機法	非該当
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 揮発性有機化合物の特別税法	非該当
16. その他の情報	
その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。

略語

ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。

ACGIH：アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists)

TWA：許容濃度(Time-Weighted Average)

ICAO：国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization)

IATA：国際航空運送協会(International Air Transport Association)

IMO：国際海事機関(International Maritime Organization)

IBC コード：国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk)

薬機法：医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

安衛法：労働安全衛生法

化管法：化学物質排出把握管理促進法

毒劇法：毒物及び劇物取締法

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation)

NITE GHS 分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

データの主要な文献参照と出典